

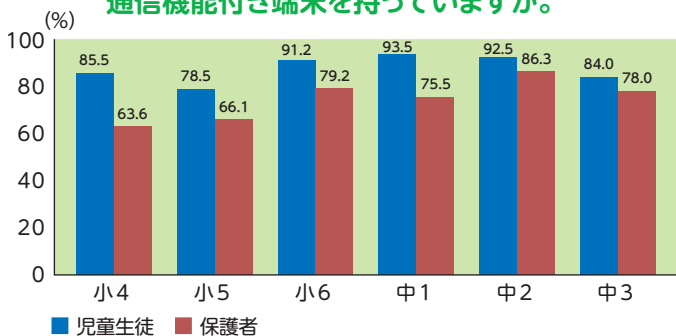


成29年11月、秋田県教育委員会は小学校4年生以上の児童生徒とその保護者を対象に、携帯電話やスマートフォン、インターネットの利用についてアンケート調査を実施しました。美郷町の結果をお知らせしますので、ご覧ください。

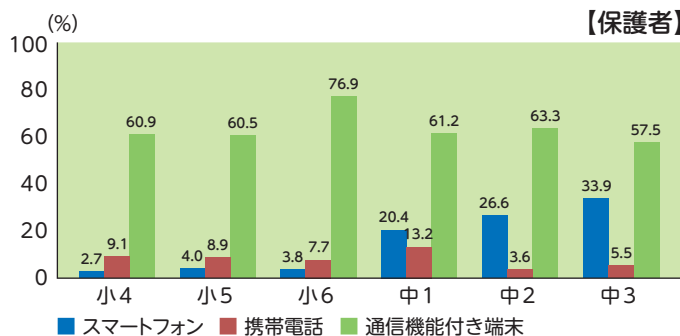
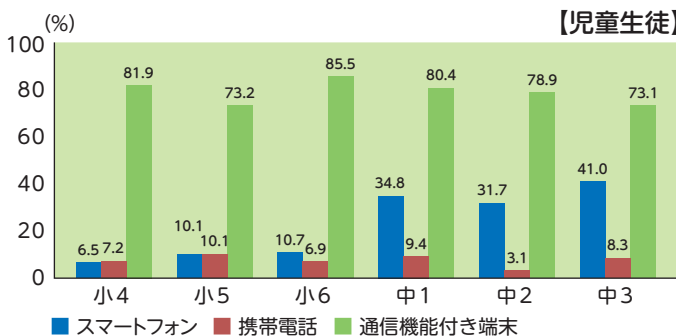
この結果をもとに、機器やインターネットの安全で健全な利用の仕方について、ご家庭でも話し合いをしていただけたらと思います。

※児童生徒と保護者の回答数が同数でないため、「%」で表示しています。また、問2から問6は、問1で「持っている」と答えた人のみ回答しています。

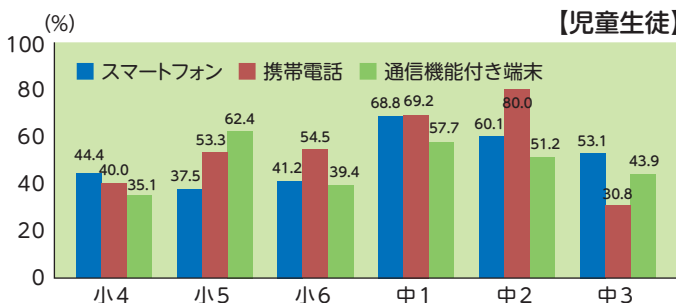
問1. あなた(お子さん)は携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末を持っていますか。



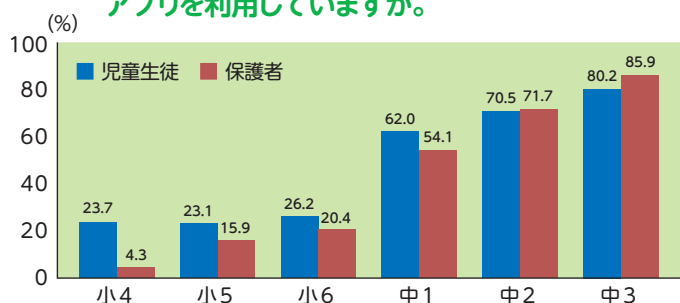
問2. あなた(お子さん)は携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末のどれを持っていますか。



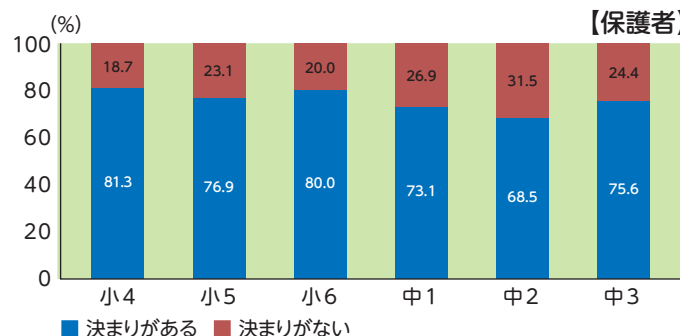
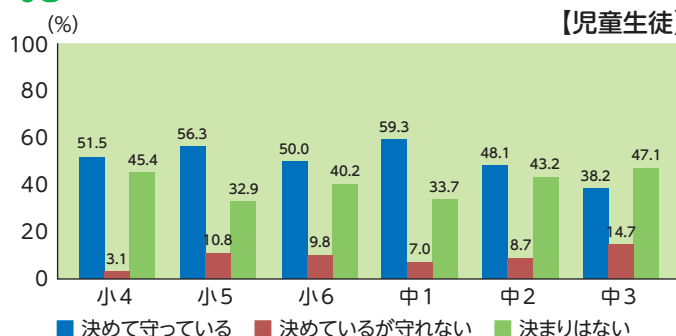
問3. フィルタリング機能を利用していますか。



問4. あなた(お子さん)はライン等のコミュニケーションアプリを利用していますか。



問5. 通信機器の使い方についてルールを決めていますか。



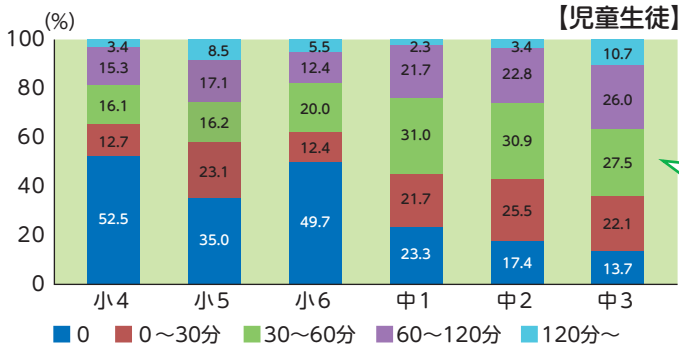
問1から、4年生以上の約8割以上の子どもたちがインターネットを利用できる環境にあることがわかります。

問2から、多くの子どもたちが通信機能付き端末(ゲーム機器や音楽プレーヤー等)を所持していることがわかります。このような通信機能付き端末を利用することによりインターネットにつながり、サイトの閲覧やサイトへの書き込み等ができる場合があるので十分に注意する必要があります。

問3の「フィルタリング機能」はネット被害等にあわないための方策の1つですが、残念ながら本町の利用率は、県平均を下回っています。

また、問5の「機器の使い方のルール」に関して、お子さんと保護者の皆さんの間に認識の差があるようです。お子さんの持っている機器について、通信機能の有無や保護者管理機能の設定等の確認、利用のルールについて、ご家族でしっかり話し合っていたいただきたいと思います。

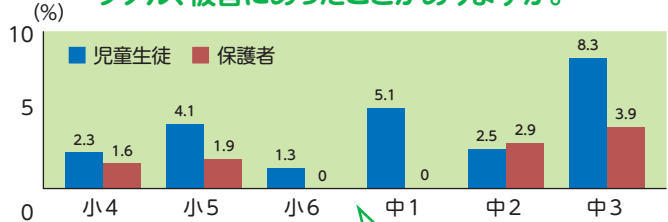
問6. あなたのアプリの利用時間(平日における1日平均)はどれくらいですか。 (アプリ…LINE等のコミュニケーションアプリ)



平日でも60分以上利用している子どもたちの割合が、ほとんどの学年で20%を超えています。特に中学生で学年が上がるほど利用時間が長くなる傾向があります。脳科学者である東北大学の川島隆太教授は、「勉強を頑張っても、スマホ・携帯の使用時間が長いほど、学力が低下してしまう。」との研究結果を発表しています。

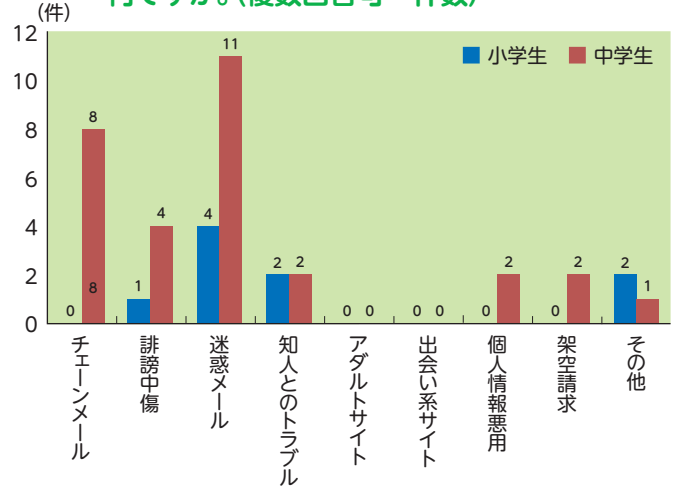


問7. あなた(お子さん)はインターネットやメール等のトラブル、被害にあったことがありますか。



実際にトラブルや被害にあったしまった児童生徒がいるようです。しかし、そのようなトラブルや被害について保護者の皆さんが把握していないケースがあることがわかります。ネットトラブルは重大な事態につながる可能性が高いことから、普段からどんなことでも気軽に相談しやすい環境をつくる必要があります。

問8. 「ある」と答えた人は、トラブルや被害の内容は何ですか。(複数回答可 件数)



脳科学の視点から

- コンピュータゲームや携帯電話が脳の働きを抑制する。
- 視線を合わせ、相手の顔や表情を見ながら話すほうが、脳は活発に働く。

出典
『ホットケーキで「脳力」が上がる』
東北大学教授 医学博士
川島 隆太 著

パソコン、スマートフォン、音楽プレーヤー、ゲーム機…インターネットを安全に使うために知っておくべきポイント

- 投稿した文章や写真などは世界中に公開されます。
- いったん投稿してしまったら全てを取り消すことはできません。
- ネット上では匿名性はありません。
- ネットでの発信トラブルがこれからの人生に影響してしまいます。

インターネットを楽しく安全に使うコツ

- 顔写真や学校名、連絡先などの情報は、自分も友達のものも投稿しない。
- 見知らぬ相手や性別・年齢を信用せず、ネット上で相談、打ち明け話をしない。
- ネットでのやり取りは伝わりにくい。相手の理解を求め過ぎず、余裕をもつ。
- ネット利用でトラブルにあったら、隠さず、速やかに周囲の大人に相談する。

～秋田県教育委員会「大人が支える!インターネットセキュリティの推進」より～